

沿革

- 昭和42年4月：田辺市元町に県水産試験場養殖分場が設置され、内水面の指導業務を行う。
- 昭和43年4月：県水産増養殖試験場として独立、田辺市元町1057番地に移転
- 昭和48年3月：県内水面漁業センターが那賀郡桃山町に設置され、内水面に関する業務を引き継ぐ。
- 平成10年4月：県内水面漁業センターから農林水産総合技術センター 内水面漁業センターと改称する。
- 平成14年4月：農林水産総合技術センター 内水面漁業センターから農林水産総合技術センター 水産試験場 内水面研究所と改称する。

組織

農林水産部 — 農林水産総務課 — 農林水産総合技術センター 水産試験場 内水面研究所

所長 — 副所長 — 主任研究員 — 主査研究員 — 副主査研究員 — 研究員
主査

業務

- 1 内水面増殖に関する調査、試験、研究及び技術指導に関すること。
- 2 内水面漁業の調査および研究に関すること。
- 3 内水面動植物の病虫害に関する調査、試験および研究に関すること。
- 4 内水面増殖のための種苗生産に関する試験および研究に関すること。
- 5 内水面増殖のための放流等の調査、試験および研究に関すること。
- 6 内水面増殖技術の普及および指導に関すること。
- 7 その他内水面に関する調査、試験および研究に関すること。

所長	大岡 一
副所長	木村 勝治
主任研究員	宇野 悦央
主査研究員	藤井 久之
主査研究員	檜山 晃晴
主査	巽 正子
副主査研究員	高橋 芳明
研究員	掘木 暢人
現業技能員	佐武 功三

平成14年度予算額

1 歳出

	予算額(千円)	
	当初	現計
内水面漁業センター運営	23,913	23,728
魚類種苗生産試験	630	630
魚類防疫体制推進整備	1,640	1,640
水産生物育種の効率化基礎技術の開発	1,835	1,817
アユの疾病対策	1,429	1,429
アユ資源調査	1,015	1,015
和歌山産ブランドアユ実用化試験	7,300	7,300
アユ資源増大対策	2,000	2,000
外来魚調査	1,120	1,000
計	40,882	40,559

2 財源内訳

国庫補助金	1,560	1,500
委託金	3,835	2,000
雑入	360	2,177
使用料	1,894	1,894
生産物売払収入	630	630
一般財源	32,603	32,358
計	40,882	40,559

平成 14 年度和歌山県農林水産総合技術センター
水産試験場 内水面研究所事業報告

平成 16 年 2 月発行

発行所 和歌山県農林水産総合技術センター
水産試験場 内水面研究所
和歌山県那賀郡桃山町調月32の3
電 話 (0736) 66-0171
F A X (0736) 66-2098
〒649-6112

再生紙使用